

Y24a 日食観察グラスの安全性について

齋藤 泉, 大西浩次, 大川拓也, 篠原秀雄, 松尾 厚 (天文教育普及研究会・安全な日食観察推進WG、金環日食日本委員会), 安藤享平, 小野智子, 高橋 淳 (天文教育普及研究会・安全な日食観察推進WG), 海部宣男, 飯塚礼子, 大越 治, 阪本成一, 佐藤幹哉, 塩田和生, 塚田 健, 船越浩海, 洞口俊博, 三島和久, 森 友和, 山田陽志郎 (2012年金環日食日本委員会)

天文教育普及研究会・安全な日食観察推進WG (日食観察WG) は, 2008 年以来, 日食 (太陽) 観察グラスの安全性の研究のために, 太陽 (日食) 観察用フィルタの安全基準について調査すると共に, 市販の各種日食 (太陽) 観察グラスと共に, その代用品として使用される可能性のある物 (下敷きやすすガラスなど) の透過率を測定してきた。日本には, 太陽直視用フィルタについての規格は無いため, 今回安全性の目安としたのは, 欧州標準化委員会 (CEN) の規格 (EN1836:2005 + A1:2007 (E)) で, 可視光が 0.003% 以下, 近赤外線 3%以下という値である。

以前から使用されてきた, 下敷きやすすガラス及びカラーフィルムなどは透過率が高く観察に適さないことがわかり, これらの測定結果をホームページで公開し, 2012年5月21日の金環日食に向けて, 2012年金環日食日本委員会とともに安全な観察を呼びかけてきた。本講演では, 各種フィルタ類の透過率について報告する。また, インターネットで販売されていて, 日食直前に危険性が明らかとなった製品について, それが見つかったから消費者庁において公表されるまでの経過についても報告する。